



下井/上岡地区 『人・農地プラン』

1

令和3年3月17日
香南市農林水産課

下井/上岡地区の人と農地の課題と背景

2

■ 課題

- ・水路などのインフラが整っておらず、借り手がいない。（貸しても返されるケースあり。）
- ・高規格道路等のため都市化（農地の住宅地化）が進んでいることより、水害が発生している。
- ・農作業（農薬散布など）への地元住民の理解が薄く農業がやりにくい。

■ 課題とした理由/背景

地区会合のグループワーク（11/27）を通じて、下記が課題として抽出された。

横井：

- ✓ インフラ（水路や道）が整備されていない。整備されていないと借り手がいないし、管理も難しい。また、整備する前提となる隣接者の同意が得られないことがある等の状況を確認した。

上岡/北地/高田/中筋/新道：

- ✓ 宅地化が進むに従って、家庭排水問題の発生とか消毒作業時の農地隣接者の理解不足とか、農業がやりにくくなっている。市として「農業を推進する」のか、「都市化を推進する」のか明確でない、等々の見解を確認した。

課題対応方針/施策

3

■方針（基本的な考え方）

下井・上岡地区は地区の農業を守るため下記を行う。

- ・インフラ（水路、農道）の整備を通じて、農作業をやりやすくする。
- ・都市化が進む中、地域住民の理解を得ながら、地域農業の継続を図る。

■施策（取組み）

方針	施策 (なにを)	目標 (どこまで)	担当（誰が）			期限 (いつ)
			地区 農業者	行政 農業委員会	農業公社 振興C,JA、他	
地区農 業の維 持継続 を図る	・地区の農業インフラ改善をできるところから着手	・ 水路/道路の整備 に向けた準備/実施計画検討	◎	建設課 ◎		R3.通 年
	・集落営農により農地管理保全を行い遊休化の防止を図る	・ 集落営農 立ち上げに向けた地区の意思統一	◎	農林水産課 ○	農業振興セン ター ◎	R3.上 期
	・農業に対する地区住民の理解を図る。	・農作業（農薬散布）時に 周囲に声かけ	◎			通年
	・農業補助事業関連の情報の取得	・圃場整備関連補助金等の 情報 を受取る仕組みづくり（市のHPの活用）	○	農林水産課 ◎		R3.上 期

以下は、プラン原案策定のための
参照資料です。

課題出し

グループワーク (11/27)

5

<人・農地プランの実質化>

グループの考える地区の人と農地の課題



令和2年 11月 27日

■ 課題

横井地区

・インフラ(水路や道)が整備されていない

■ 課題とした理由/背景

- ・整備された農地でないと借り手がいない。
- ・管理が難しい。
- ・隣接者の同意が得られないことがある。

<人・農地プランの実質化>

上岡/北地

グループの考える地区の人と農地の課題



令和2年 11月 27日

■ 課題

16番. 下水, 水路, 畑作を放棄して宅地化, 果樹を放棄して畑作, 17番. 下水, 水路, 畑作を放棄して宅地化, 果樹を放棄して畑作.
 3番. 宅地化, 消毒の前, 排水の処理, 18番. 下水, 水路, 畑作を放棄して宅地化, 果樹を放棄して畑作.
 5番. 水路, 水路, 畑作を放棄して宅地化, 果樹を放棄して畑作.
 8番. 下水, 水路, 畑作を放棄して宅地化, 果樹を放棄して畑作.
 615. 下水, 水路, 畑作を放棄して宅地化, 果樹を放棄して畑作.

■ 課題とした理由/背景

1. 香南市として、地域農業(農地)を守っていくのか! 宅地^化していくのか?
 2. 宅地化が進むに従って、農地にリンセンする人との間でトラブルが起こっている。(消毒、排水)
 3. こうきやく道路にともなう工事について、農業者の立場に立て、整備をしそいたい。(水). 道路
4. 水の問題

<人・農地プランの実質化>

令和2年 12月 / 日



A グループ：『人・農地の課題』への対応方針/施策

■地域としてこれから何に力をいれていけば良いか！

インフラ整備：用水・排水^雑の区分をしたい。基盤整備に取り組みたい。圃租金については地域の話し合いが必要 (耕作条件改善)

集落営農組織の立上げ：法人化による農地管理保全をしないと遊休化が進む

宅地化：市の都市計画の線引がないため(青地・白地)調整区域がないため無秩序な広がりが進む
農産地域の農地を守るべきではないか

■どういう取り組みができるか

施策	地域ができること	行政・関係機関ができること	
		行政 農業委員会	農業公社、 振興センター、JAなど
行政が都市計画の線引きの見直し	地域内での話し合い		
農地と宅地の融合、小学生の田植え体験など	小学校の給食に地元の米を利用 食育の教育		

方針施策検討 (12/1)

7

<人・農地プランの実質化>

令和2年12月 / 日



B グループ：『人・農地の課題』への対応方針/施策

■地域としてこれから何に力をいれていけば良いか！

・農業をPRして、住民の理解を深める。

■どういう取り組みができるか

施策	地域ができること	行政・関係機関ができること	
		行政 農業委員会	農業公社、 振興センター、JAなど
農業を実際の事前の連絡	どう配る 昔ながら一声かけ (ふいさつ)	放送 (無線)	
農業の安全性について周知			JAを通じて PR活動

<人・農地プランの実質化>

令和2年12月 / 日



B グループ：『人・農地の課題』への対応方針/施策

■地域としてこれから何に力をいれていけば良いか！

・地域ぐるみのインフラ整備 (多面的機能
支払交付金)

■どういう取り組みができるか

施策	地域ができること	行政・関係機関ができること	
		行政 農業委員会	農業公社、 振興センター、JAなど
補助事業の活用	〇フシ(総代→住民) 周知 〇協力体制の整備(総代)		
行政としてできる工事を住民に周知する。			

〈人・農地プランの実質化〉

令和2年 / 2月 / 日



③ グループ：『人・農地の課題』への対応方針/施策

■地域としてこれから何に力をいれていけば良いか！

同意が出来るところを優先的にインフラ整備をしていく。

~~地域で集約~~

後継者を含めこの村から農業を引退る者にはインフラ整備を重点的に行ない、農業をしやすい条件をつくる。

■ どういう取り組みができるか

施策	地域ができること	行政・関係機関ができること	
		行政 農業委員会	農業公社、 振興センター、JAなど
<p>集約の約束を守り町画的に集約を促すことが目的。 水路、道路整備には力を入れている。</p>	<p>地域で集約 農業委員、 振興センター、JAを含め 情報提供をしてもらう協力 している。</p>	<p>インフラ整備を 進めよう (国からの補助金)</p>	
	<p>地域</p>		